

NEWS LETTER 57

VOL. 57
TAKE FREE



東京メディア芸術学部
オープンすぎる！オープンキャンパス！
「各領域の在学生在が、
あなたのどんな悩みや相談にもお答えします！」

卒業生 Interview!!
Dr. イムさん

NEWS LETTER 編集委員が行く！
世界堂のおすすめ探し

講師 Interview !
城芽ハヤト 講師

リレーマンガ
『私達の大学生活はまだ始まったばかり。』第3話

News Letter

Vol.57

2015年6月30日発行

宝塚大学 東京新宿キャンパス 東京メディア芸術学部 | 大学院 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目11番1号
TEL:03-3367-3411 FAX:03-3367-6761 E-Mail:tokyo@takara-univ.ac.jp

なりたいたいわたしに近い大学。

都心のキャンパスだから
発信する場がいっぱい!

社会に
近い。



先生は第一線で活躍する
現役クリエイター

教員に
近い。



各沿線の新宿駅から
歩いてすぐ

新宿駅に
近い。



各沿線
新宿駅
徒歩約5分!

学びの特徴

現役クリエイターによる指導のもと、領域の枠を超えて学べるカリキュラムで一人ひとりに合わせた学びを実現!

POINT 1

現場で生きる教育を実践
先生=クリエイター

POINT 2

+αの学びが力になる
選べるカリキュラム

POINT 3

きめ細やかな対応が可能
少人数制の授業

SCHEDULE オープンキャンパス 年間スケジュール

7/12(日) 10:00~15:00
7/26(日) 10:00~16:00
8/2(日) 10:00~16:00
8/22(土) 10:00~16:00
夏のオープンキャンパス

9/5(土) 10:00~15:00
進学相談会 13:00~16:00
10/31(土) 12/5(土) 2015 1/30(土)



ACCESS アクセス



- JR「新宿」駅(西口)から徒歩約5分
- 都営大江戸線「新宿西口」駅から徒歩約5分
- 地下鉄丸の内線「新宿」駅から徒歩約4分
- 西武新宿線「西武新宿」駅から徒歩約4分
- 小田急線「新宿」駅から徒歩約5分
- 京王線「新宿」駅から徒歩約5分
- 都営新宿線「新宿」駅から徒歩約5分



オープンすぎる!

「各領域の在学生在が、
あなたのどんな悩みや相談にもお答えします!」

映像領域

「映像領域は映画じゃない」と掲げ、このブースでは講師が直接プレゼンテーションをしていました。未来の映像表現に注目が集まる中、インタラクティブ映像やプロジェクションマッピングなど、メディアアートの制作技術を中心に学んでいきます。



ゲーム領域

家庭用ゲームをはじめ、今はスマホアプリゲームが盛んな時代。ゲームをするシーンや使う機材によってもゲーム開発は異なります。実際のアプリ、ソフトを使って体験できるプレゼンテーションを学生たちが工夫して話していました。



イラストレーション領域

正統なイラストレーション、絵本、キャラクターデザイン、グラフィックデザイン、WEBデザインなど、幅広い技術を身につけることができるイラストレーション領域。学生たちの作品も多く並び、高校生たちも興味津々!



マンガ領域

3人の在学生在たちが丁寧に、熱心に説明していました。授業の具体的な内容、将来漫画家を目指すためのアドバイスも飛び交い、今後のデジタル表現の必要性も語っていました。講師による、高校生の持ち込み漫画の講習会も!



コンテンツデザイン領域

世の中の商品や広告などはコンテンツだらけ。コンテンツを様々な角度から捉え、グラフィックデザイン、立体、空間、サウンドなどを含めたメディアコンテンツ全般を学んで行く領域。発想豊かなクリエイターを求む!



アニメーション領域

物語づくりから、作画、動画など表現の幅が広いアニメーション領域。ジョジョの奇妙な冒険の原画も展示してありました。表現の幅が広い分、明確な特技を持つことが大切だと学生も熱弁していました!



ハチ子もビックリ! 特別授業



「ヒットメーカーに学ぶ! 売れるアニメとは!？」

アニメーション領域の専任講師である芦谷耕平先生による特別授業が行われました。アニメの作り方、魅力的なキャラクターデザインとは? アニメの歴史から話が始まり、実際の仕事でも使われたキャラクターデザインの資料も渡され、受講者は大興奮!!

やって楽しい! ワークショップ

「メタルエンボッシング で飾る革の葉」

イラストレーション領域専任講師の高田美苗先生と一緒に作る革の葉づくりに夢中!



「オリジナル クッキー帳づくり」

在学生や講師陣も参加してつくった自分だけのクッキー帳。同じ表紙なのにデザインがひとつひとつ違います! 高校生たちもその場でイラストを描くことに挑戦!



夏のオープンキャンパスは

- 7/12 (日)
- 7/26 (日)
- 8/2 (日)
- 8/22 (土)

オープンキャンパス応援大使の宝探しハチ子だよ! 未来の夢はマルチスキルを持ったBee脳クリエイター★

Twitterアカウント: @TAKARA_hachiko

6/21 (日) に行われた オープンキャンパスをレポート!

各領域の説明、相談役は在学生在が担当! これから宝塚大学に入学する高校生の方々にとって、年齢が近い在在校生はお兄さん、お姉さんのよう。アニメーション領域の特別授業、ワークショップも開催していました!



卒業生 Interview!!



読切『ギタイ』

ギタイと呼ばれる謎の無人戦闘機と戦闘機乗りマルイチの空戦を描いた短編。コミティアにて、同主人公の同人誌を発表していたところ編集者から声がかかり、デビューに至る。



Profile

Dr.イム

1990年6月14日生まれ
朋優学院高等学校 美術コース出身
月刊コミック@パンチにて、読切『ギタイ』でデビュー。
現在はゲームデザイナーとして働きつつ連載を目指している



いつから漫画が好きでしたか？

幼いときから漫画を読むことは好きでした。少年ジャンプはかなり読み込んでいましたし、その中でもワンピースは衝撃的でしたね。物語もキャラクターにも圧倒されて大好きな漫画の1つです。もともと父が第二次世界大戦オタクで、家にたくさんプラモデルやそれにまつわるものが置いてありました。私も女の子のもののおもちやではなく、ウルトラマンとかで遊んでいたこともありまし。機械、飛行機が好きになったのも父の影響が強いと思います。スターフォックスが今でも好きなのは完全に影響を受けた証だと思っています。

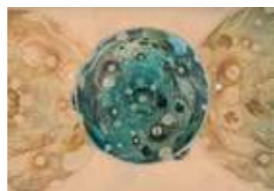
漫画家になろうと思ったキッカケは？

スターフォックス、風の谷のナウシカ。私はなんだか「空を飛ぶもの」に憧れがあつて、かつこよくもファンタジーなものが好きだったんです。高校は朋優学院の美術コースに通っていて、当時からペットボトルで戦闘機をつくっていたので、高校入学のときには将来漫画家になりたいなあ、と思っていました。たくさん漫画、アニメを見てきて、自分でも描きたい！と自然に思えるようになっていました。

なぜ宝塚大学を選んだのですか？

美大のデッサンは美大講師に沿った受験勉強だったので、それが嫌でした。高校卒業後、学びたいのは漫画だったので、いわゆる美大ではなく、宝塚大学のように専門性が高いところがいいと思いました。東京に住んでいたので新宿という立地も正直よかったです。新宿の街には世界中から人が集まっていますし、テクノロジーも広告もメディアも最先端なものが多い。映画館や画材屋さん、見たい漫画やアニメだっ

ですぐに手に入ります。毎日通う学校選びに、立地は大きく関係してくると思っていました。



入学してどうでしたか？

学生生活もただ授業を受けるだけではなく、日々自分が学びたい環境に居るのかということを考えていました。なので1人で行動することも多かったですね。自由な校風でしたし、なにより先生との距離が本当に近い。自分から動けば協力もしてくれるし、環境は与えてくれます。先生たちも「業界人っぽい」方たちが多い印象でした。早口でばかり仕事している感じ(笑)。実際はわり仕事している方たちが先

生をされているので、先生というより職場の先輩みたいな感じでした。現場感をとても大切にされていて、今思えばとても実践的だったと感じています。

今後の人生は？

在学中に磨いた画力やいろんなスキルはあるのですが、人とのコミュニケーションがうまく取れる努力を在学中はあまりしてこなかったため、今後はそこを磨いていきたいです。自我を通すことだけで生きて行くのは難しいと学びましたし、スキルも発揮できないんです。今はゲーム会社のデザイナーとして働いていますが、漫画家の夢はもちろん捨てていません。休日には自分の漫画作品を進めていますし、編集の方ともよくお話しします。今は2つの漫画を同時進行しているので、休日も忙しくしています。毎日手を動かせる環境をつくって、いつかは自分の漫画が連載されて、単行本になって、ゲーム化されたいいな。

大きい夢ですけど、そのために努力を重ねて連載までいきたいです。

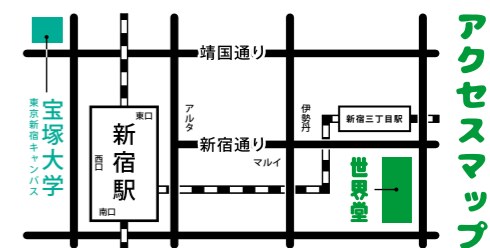
在学中にやっておいた方がいいと思うことは？

人に出るだけ多く、作品を見せることをした方がいいと思います。出版社に漫画を持ち込みに行ったときに、まったく喋れなかったり、臆病になったりするから、他人に多く見せることが大切だと思います。これは身をもって体験しました。ウェブ漫画も最近は多く出版していますし、自分の作品が社会に出るチャンスはたくさんあります。とにかくたくさん描いて、たくさんの人に見てもらって評価を受けることをオススメします。私もまだ夢の途中なので一緒にがんばっていきましよう！

世界堂

のおすすすめ探し

新宿3丁目にある今年創業75周年を迎えた、画材や額縁、文房具などが何でも揃うお店「世界堂本店」。ここは宝塚大学の学生も大いに利用させてもらっているお店です。今回は、そんな世界堂本店の店長さんたちに協力いただきながら、編集委員が『おすすめ』をちょこっと紹介いたします。とくとご覧あれ!



三菱鉛筆 シグノエンジェリックカラー UM120 ホワイト
 漫画原稿のペン入れやベタがちよとはみ出してしまった!でもホワイト使うのは大きすぎだなぁ...と思ったときに、これで塗りつぶせば簡単に修正できます。ベタに模様や文字を描くのにも便利です。



オート スライド・クリッパー
 ネーム(漫画の絵コンテ、ラフ)がバラバラになってまとまらないときにワンタッチで留められます。外しても跡が付きにくい仕様です。

ドラパス おもしろパンタくん
 この商品はロゴデザインなどをアナログで制作する際に小さいロゴなどを拡大して大きく描くことの出来る画期的な道具です。デザイン制作の場ではとても役に立つのではないのでしょうか!



マンガ領域&イラストレーション領域の編集委員が選ぶ! おすすめの画材&文具

NEWS LETTER編集委員の私たちがいつも授業や趣味でお世話になっている、世界堂で買える道具たち。学校で使うものからちょっとマニアックなものまで、一部ですがご紹介します!

モデルフルーツ
 絵画やデッサンのモデル用のフェイクフルーツです。種類も豊富で、モチーフ以外にもインテリア小物にもなります。



ターナー アクリルガッシュ100ml ホワイト
 イラストレーション領域の人たちがよく使うアクリルガッシュ。その中でも白色は消費量が激しいので、ひと際大きな100mlのチューブを買っておくのがオススメ!



デリーター フリーペン軸
 つけペンのペン軸です。これ一本でGペンや丸ペンなど異なるサイズのペン先が差し込めて、更にしっかりはまってくれて描きやすいです。



ターレンス プチカラー 12色
 持ち運びしやすい小さい透明水彩セットです。透明水彩の中でも値段がお手頃で買やすく、パレットや筆も付いててすぐにでもカラーイラストが塗れて嬉しい商品です。



デリーター マスキングテープ 1mm
 このマスキングテープは幅横1mmと、とても細い商品です。一見何に使うんだと思うかもしれませんが、細い描画をする人にはピッタリです!



額装
 額装がくそうしてしまいました!
 元々は「額縁屋」としてスタートした世界堂。経験豊富なスタッフさんのアドバイスを受けながら今回私たちが額装に挑戦させてもらいました!



① 額縁を選ぶ
 まずは絵を入れる額を選びます。木製の額が選ばれることも多いと思いますが、今回は太子というサイズの「ノストリーム」という少しラメが入った白い額に決定!



② マット紙を選ぶ
 額を選んだら承りカウンターに持って行って、額と作品を固定させるためのマット紙を選びます。様々な色があるので、お店の人に相談しながら決めるのも良いでしょう。今回は絵に合わせて薄いピンク色(HB564)に決めました。



③ はめ込み & 仕上げ
 額縁もマット紙も決定したらお店の人に最後の仕上げをしてもらいます。絵を額にはめ込んでもらい、後ろには壁に掛けるための紐をつけてもらって完成です!

自分の絵を額装してもらう経験がなかったのでとても良い経験になりました。何が合うか分からない時は店員さんからアドバイスをいただき、とても素敵な額を選んでくれたので良かったです。ぜひ皆さんも額装してみてくださいね!

イラストサイズ:A4
 所要時間:約1~2時間(混み具合により異なる)
 かかった金額:額縁+マット紙の値段=約4000円

完成!



講師 Interview!

城芽ハヤト講師



1955年秋田県横手市生まれ。武蔵野美術大学油絵学科卒。在学中から仕事を開始し卒業以降フリーイラストレーター。書籍カバー・小説誌挿画・絵本などで展開。近刊「つくもがみ」(京極夏彦/岩崎書店)。主画材はキャンバスボードにアクリル絵具。海外誌掲載 new fashion illustration(UK)、X-FUN(台湾)など。2011年講談社出版文化賞さしえ賞。東京イラストレーターズ・ソサエティ会員。

——宝塚大学との出会いはいつからですか？

宝塚大学のイラストレーションコース立ち上げのときから関わっています。今年で8年目になりますね。北見隆先生から声をかけていただいたのがキッカケです。実は大学が一緒に武蔵野美術大学出身なのですが、北見隆先生は4つほど学年が上でした。ムサビの中でも当時有名な卒業生で、青山のギャラリースペースユイで北見隆先生が展示していたのを見に行っていましたね。僕自身もピースカード展という平和の絵ががきをテーマに展示会を主宰していました。その企画を見てくださっていて繋がりができたと覚えています。

——ピースカード展は今でも継続されているのですか？

年に一度の開催で続けていて、今年28年目になります。展示会場はいつも転々としていて、150〜200名ぐらいの作家さんの絵ががきを展示しています。

ここ7年ぐらいは青山のギャラリーハウスマヤのセカンドスペース「マヤ2」というところで展示しています。

——教えていて大切にしていることはなんですか？

平和ということで終戦記念日の8月15日から始めていましたが、お盆ということで最近では9、10月のどちらかで企画しています。この企画は当初、「ピースレター」という企画集としてやっていたんです。社会にアプローチしていたおもしろい企画だったのですが、文章として書き連ねてやるのは正直重かった(笑)。文章ではなく、絵としてやった方がいいなと思ったんです。自分自身、イラストレーターが生業というのもありましたし、他の人も絵だったら参加しやすいと思ったんです。

1年に1回「平和」を考える絵を描こうと思いました。プロもアマも関係なく、現在は若い人が中心になって活動しています。こうやって長年続いていく企画はおもしろいですし、新しい人もどんどん参加できることはいいことです。3年参加して卒業していく人もいますし、いろいろですね。

——城芽先生のこれからは？

学生にデッサンを教えながら、絵の仕事も続けていきます。今は小説や絵本の挿絵が多いですね。わりとテーマががちり決まっているものに対して絵を描いていく仕事が多いです。本の中身のネタがバレないような絵を描くこと。イラストレーションは「言葉」を引き立てるものだと思っていますし、脇役としての立ち位置を考えて描くことが大切だと思っています。自分の主張が強いイラストで食べていくのは至難の業だと思うので、聞き上手なイラストレーターがいんじゃないかなとも思っています。こうやって現役でイラストレーターとして活動ができることに感謝していて、長く絵を描いて行けるアドバイスを学生にしていきたいですね。どの領域の先生方も一線の現場に身を置いている方が多いので、ほかの美大、大学とは違った雰囲気があるのも、宝塚大学のよいところですね。



絵本「つくもがみ」表紙 2013



個展作品「9th revolver」2015



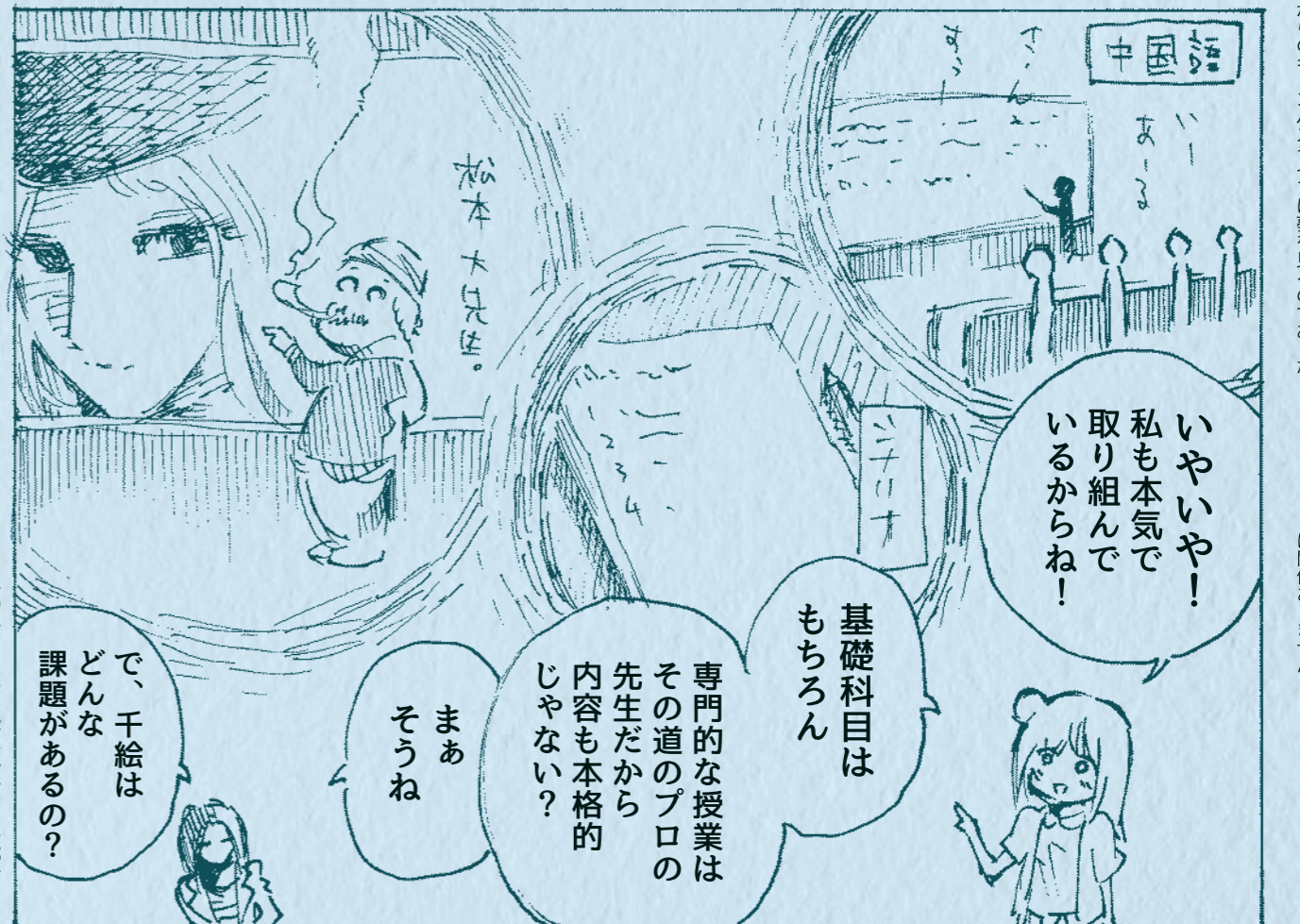
個展作品「Puffy」2015

——学校ではどういったことを教えていますか？

現在授業をもっているのは、1、2年生のデッサンの授業です。絵を描く上でもっとも基本的なスキルです。イラストと言われるとキャラクターというイメージがあるかと思いますが、ぼくが訴求したいのは「絵」だということ。実際8年やってきて、「宝塚のイラストレーションは絵だった」と学生が言ってくれています。イラストレーションでキャラクターやアニメ指向の、いわゆる「絵師」と呼ばれる人たちは、上手ければ上手いほどいくつかの正解に収斂するので無個性化します。長い人生、絵師として生きて行く覚悟は、問われていくと思います。

イラストレーターとして30年以上活動してきて大切だと感じたことは「続けられること」です。ぼくより絵が上手い人は今までたくさん見えてきました。地道に続けてきた人は少ないと思います。自分をしっかり持って、社会に対峙したときにアイデンティティがあるのか。もちろんぼくも学生のときからそんな強い意思はなかったと思いますが、絵は本当に好きでしたね。

リレーマンガ 私達の大学生生活はまだ始まったばかり。



※この漫画は、宝塚大学の学生生活に基づいたフィクションであり、実在する人物などはほぼ関係ありません。

あらすじ

最初の授業を終え、水咲とも共通の趣味から仲良くなった千絵。他にはどんな授業をとってサークルに入るのか、千絵はこれからのキャンパスライフに夢を見るのであった。

※この漫画は、宝塚大学の学生生活に基づいたフィクションであり、実在する人物などはほぼ関係ありません。

人物紹介



新城千絵

マンガ領域の1年生。好奇心旺盛で何にでもチャレンジする。課題はギリギリになってやる気が出る人。



藤井水咲

イラストレーション領域の1年生。コミュニケーション力の高い、クール系女子。課題は早く終わらせる人。?



★このあと無事に課題を終わらせました。

TOPICS
4

渡邊准教授、芦谷講師が学会発表



渡邊准教授が日本デザイン学会で学会発表

渡邊哲意准教授（コンテンツデザイン領域）が、6月12～14日に千葉大学西千葉キャンパスで行われた日本デザイン学会第62回春季研究発表大会に参加し、口頭発表を行いました。

発表題目は「産学協同によるアーティストプロモーションに関わるデザイン」で、昨年度よりデザイン表現研究室で取り組んでいる産学協同プロジェクト「町あかりプロモーションデザイン」の取り組みからデザイン教育におけるアクティブラーニングの方向性について研究報告を行いました。

芦谷講師が日本映像学会で発表

芦谷耕平講師（マンガ・アニメ領域）が、5月30～31日に京都造形芸術大学で行われた日本映像学会第41回大会に参加し、作品発表で登壇しました。

発表作品は、「アシノミクス」と題し、講師が映像専攻の学生として大学生生活を始めた1998年から2015年までに制作した映像作品の素材を断片化し、自身の制作した音源素材をベースに再構築した映像から、自己の映像制作とそのスタイルを読み解く、という内容となりました。



発表内容のスライド（抜粋）

上映作品の1カット

TOPICS
5

TVアニメ『ジョジョの奇妙な冒険 SC』完走！ そして6月公開劇場アニメ新作にアニメ領域卒業生、講師が続々参加！



© 荒木飛呂彦 & LUCKY LAND COMMUNICATIONS / 集英社・ジョジョの奇妙な冒険 SC 製作委員会



© 士郎正宗・Production I.G / 講談社・「攻殻機動隊 新劇場版」製作委員会

関東圏では6月19日の東京 MX で最終回が放映されたTVアニメ『ジョジョの奇妙な冒険 SC エジプト編』、シリーズを通しアニメ領域在籍生、本学卒業生が作画スタッフとしても参加し、大いに盛り上がりました。芦谷専任講師は最終回でも作画監督として参加し、無事に迎えた最終回の完成を在籍生や卒業生、ファンの方々と共に喜んでいました。

また、6月13日より全国公開された劇場用アニメ『ラブライブ! The School Idol Movie』に、アニメーション領域卒業生の安藤尚也さんがライブパート演出として、同じく本学助手の濱本愛果さんが第二原画とデザインでスタッフとして参加しています。

6月19日より全国公開中の劇場用アニメ『攻殻機動隊 新劇場版』に、アニメ領域芦谷専任講師が原画スタッフとして参加しています。芦谷講師は子供の頃からこのシリーズの大ファンで、今回の最新作に参加出来たことを非常に誇りに感じたそうです。ぜひ劇場へ足をお運び下さい！

TOPICS
1

北見隆教授、吉田光彦講師が 「門坂流へのオマージュ 流体の力学」に作品を出展

2014年4月3日に亡くなった門坂流さんへのオマージュ展「門坂流へのオマージュ 流体の力学」にイラストレーション領域の北見隆教授、吉田光彦講師が作品を出展しました。15人の作家+門坂流さん16名の競作展で門坂流さんの初期の作品も展示されました。



TOPICS
2

忍岡高校でプロジェクションマッピングの出張授業



6月8日に東京都立忍岡高校でプロジェクションマッピングの出張授業を行いました。今年度の文化祭で、プロジェクションマッピングに挑戦したいというお話から、出張授業が実現。当日は1年生約160人が参加。渡邊教授の関わるデジタル掛け軸のプロジェクションが投影されると教室からは大きな歓声が上がるなど、みんな熱心に聞き入っていました。

TOPICS
3

第12回 鎌人いちばに似顔絵缶バッジ、 ボディペイントブースを出展



5月30日に鎌倉海浜公園で開催されたフリーマーケット、物々交換、各種ワークショップなどで毎回にぎわう「鎌人いちば」に学生たちが似顔絵缶バッジ、ボディペイントブースを出展しました。暑いなか学生たちは子どもたちの似顔絵を缶バッジにしたり、腕や顔にボディペイントをするなど、好評でした。



弁慶さんもご来場



夏のオープンキャンパス

7/12、7/26、8/2、8/22



■時間■
7/12 10:00 ~ 15:00
7/26、8/2、8/22 10:00 ~ 16:00

夏のオープンキャンパスでは6領域による特別授業、ワークショップ、漫画講評会、入試相談コーナーや学生・教員による相談コーナーなどをご用意しています。

大学公開講座

8/4

松本零士特任教授、桜木晃彦教授の授業が受講できる「大学公開講座」を実施します。受講料無料、要予約。

実施講座

創作の想像の世界 (松本零士特任教授)
人体を描くコツ (桜木晃彦教授)

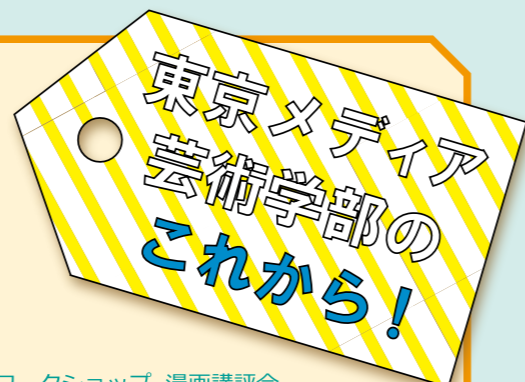
サマークリエイターズカレッジ

8/5~8/7

東京メディア芸術学部での学びの基礎が体験できる「サマークリエイターズカレッジ」を実施 (高校生の方対象)。受講料無料、要予約。

実施講座

- ・トレース体験
- ・CLIP STUDIO PAINT で漫画を描いてみる
- ・Web デザイン入門
- ・初めての鉛筆デッサン
- ・アートのためのプログラミング入門
- ・グラフィックデザイン入門



編集後記
夏が近づいてきましたね！ニュースレター編集部もたまには太陽の下で遊ばなきゃなあ、と感じています。今回の新宿まち歩き企画はいつもお世話になっている「世界堂」さんに取材に行ってきました！店長の方とっても取材慣れしている方で、私たちが行って行くだけで精一杯；あれだけ多くの商品があるにも関わらず、どんな小さなアイテムだって知っている店長さんに尊敬の意を込めて。4人で敬礼！！

編集後記

NEWS LETTER 編集部

Editor	金澤英樹 (本学職員)	表紙イラスト	MRaMRa (2年)
	ミネシゴ (フリーライター)	リレーマンガ 作画	齋藤頸吾 (4年)
Art Director	渡邊哲意 (本学准教授)		
	芦谷耕平 (本学講師)		
	小野寺真央 (大学院1年)		
Designer	有馬ゆずか (4年)		
	河野真美 (4年)		
	高田佳奈 (4年)		
	中田亜花音 (4年)		



TOPICS
6

AAC-ACT ART COM-Art & Design Fair 2015 に 大学院 藤代実咲さんらが参加



NPO 法人 ACT ART COM 実行委員会が主催の若手作家育成のための展示「AAC-ACT ART COM-Art & Design Fair 2015」(6月18日~21日)に大学院の藤代実咲さん、同窓生の N.chisato さん、MIZ さんが参加しました。

参加作家: 藤代実咲 (大学院)、N.chisato (同窓生)、MIZ (同窓生)



新宿ラーメン巡り

これは院生の小野寺が自身の好物であるラーメンを求め新宿を巡り、独断と偏見で選んだラーメンを食べては描くという企画である。

麵屋 翔
東京都新宿区西新宿7-22-34
平日 11:00-15:00 18:00-23:00
土日祝 11:00-15:00 17:00-21:00



小野寺真央
1992年12月27日生まれ。
宮城県気仙沼市出身。東京都北区在住。
2015年3月に東京メディア・コンテンツ学部卒業。現在、メディア・造形研究科修士課程1年生としてNEWS LETTERに携わる。
好きな食べ物はもちろんラーメン！

麵屋 翔
香彩鶏だし特製塩らーめん(990円税込)